

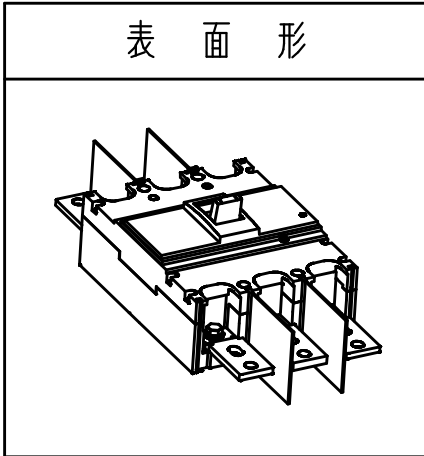
このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

NE603Y
NE803Y

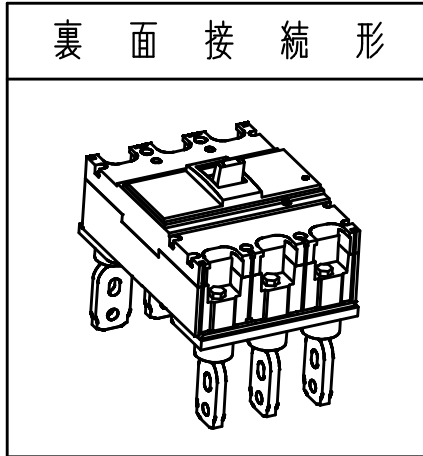
NE603YB
NE803YB

NE603YF
NE803YF

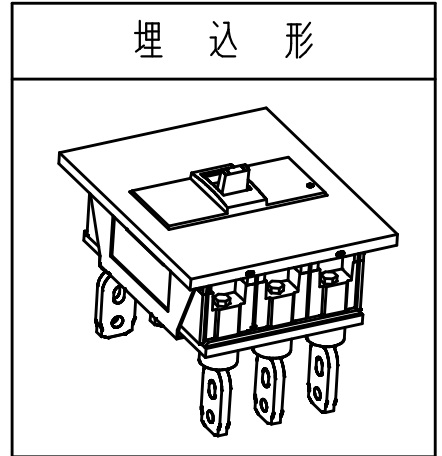
表面形



裏面接続形



埋込形



安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

	危険 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

	端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。
	自動的に遮断した場合は、原因を取除いてからハンドルを「ON」にしてください。火災のおそれがあります。
	保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカを「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。

■施工上の注意

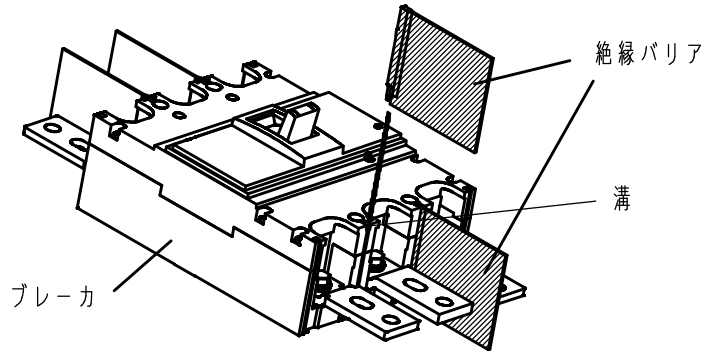
	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。																					
	配線作業は、上位ブレーカを「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。																					
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。動作しないおそれがあります。動作しない場合には、感電や火災のおそれがあります。																					
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等がブレーカ内部に入らないように施工してください。動作しないおそれがあります。																					
	電線接続の際、端子ねじを確実に締付けてください。火災の原因になります。																					
	標準締付トルク一覧表																					
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ねじ径</th> <th>M5</th> <th>M6</th> <th>M8</th> <th>M8 (六角穴付)</th> <th>M10</th> <th>M12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>締付トルク N・m</td> <td>2.5~3.5</td> <td>4~5</td> <td>5.5~7.5</td> <td>8~13</td> <td>25~35</td> <td>40~50</td> </tr> <tr> <td>(kgf・cm)</td> <td>(25~35)</td> <td>(40~50)</td> <td>(55~75)</td> <td>(80~130)</td> <td>(250~350)</td> <td>(400~500)</td> </tr> </tbody> </table>	ねじ径	M5	M6	M8	M8 (六角穴付)	M10	M12	締付トルク N・m	2.5~3.5	4~5	5.5~7.5	8~13	25~35	40~50	(kgf・cm)	(25~35)	(40~50)	(55~75)	(80~130)	(250~350)	(400~500)
ねじ径	M5	M6	M8	M8 (六角穴付)	M10	M12																
締付トルク N・m	2.5~3.5	4~5	5.5~7.5	8~13	25~35	40~50																
(kgf・cm)	(25~35)	(40~50)	(55~75)	(80~130)	(250~350)	(400~500)																
	モータ回路に使用する場合は、モータの全負荷電流に適合したブレーカを選定してください。																					
	本体の定格にあった電源に接続してください。不動作及び故障の原因となります。																					

■動作

- 過電流や短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし、電路を遮断します。
- トリップした場合の動作表示：ハンドルが『ON』と『OFF』の中間で止まります。一度『OFF』側（リセット動作）にハンドルを戻してから再投入してください。

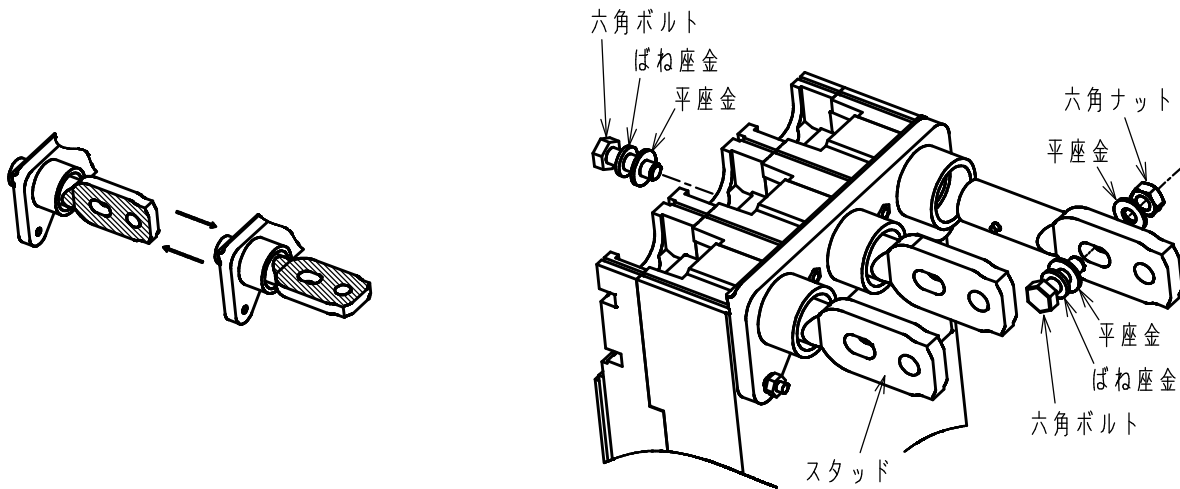
■ 表面形用絶縁バリヤの取付方法

端子部異相間の絶縁確保のため、絶縁バリヤをブレーカの溝に挿入してご使用ください。
ただし、端子カバーと絶縁バリヤを同時に取付けることはできません。

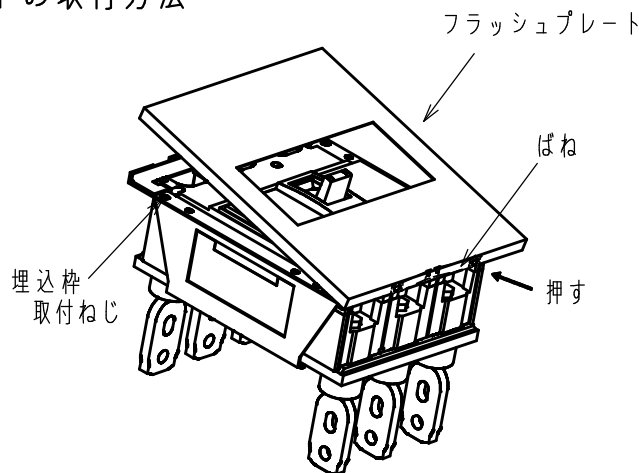


■ スタッドの向き方向変更方法

スタッドは、90°ごとに方向を変更できます。
接続導体を接続するときは、スタッドに無理な力が加わらないように注意してください。
スタッドの締付トルク 六角ボルトM10: 25~35N・m (250~350kgf・cm)
接続導体の締付トルク 六角ボルトM12: 40~50N・m (400~500kgf・cm)



■ フラッシュプレートの取付方法



仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。
この取扱説明書の内容は2011年4月現在のものです。

施工業者名

TEL.

施工年月日

年 月 日

NITTO 日東工業株式会社

© NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室/愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地

TEL.0561(64)0152

http://www.nitto.co.jp